



エコアクション21
2023年

環境経営レポート

活動期間：2023年10月～2024年9月

未来に、今より美しい水を・・・



エコアクション21
東昭化学株式会社 ・ 株式会社 カズサ

2024年12月27日

1-1. 東昭化学株式会社 組織の概要

1) 事業所名及び代表者名

事業所名 東昭化学株式会社
代表者名 代表取締役 宮島昭夫
所在地 〒101-0025
東京都千代田区神田佐久間町2-7

2) 環境管理責任者及び連絡先

責任者 取締役営業部長 岡田好明
連絡先 TEL 03-3863-0831 (代)

3) 事業活動内容

化学工業薬品、医薬品の販売
劇物、毒物の販売
食品添加物の販売
医薬部外品の販売
化粧品の販売
高度管理医療機器等の販売業・賃貸業

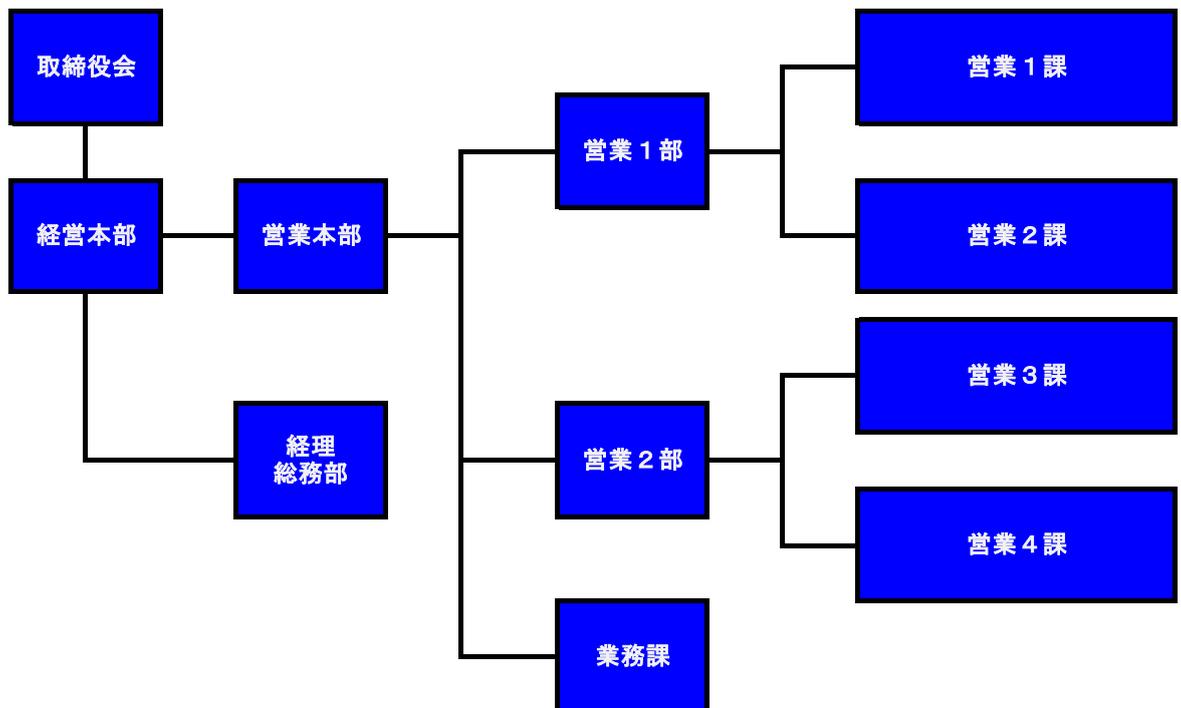
調理機器の販売業・賃貸業
水処理設備の販売業・賃貸業
物品の販売（日常生活品の販売）
賃貸業
清掃業
前各号に附帯する一切の業務

4) 事業規模

資本金 2,418万円
従業員数 32名
対象床面積 280平方メートル



5) 東昭化学株式会社 組織系統図



1-2. 株式会社カズサ 組織の概要

1) 事業所名及び代表者名

事業所名	株式会社	カズサ
代表者名	代表取締役	川上康夫
所在地	本社・工場	〒299-4205 千葉県長生郡白子町南日当 2 4 2 4 - 6
	東京営業所	〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町 2 - 7

2) 責任者及び連絡先

責任者	工場長	川上康夫 (兼任)
連絡先	T E L	0475-33-6417 (代)

3) 事業活動内容

化学工業薬品の製造及び販売
食品添加物の製造及び販売
医薬品の製造及び販売
劇物、毒物の製造及び販売

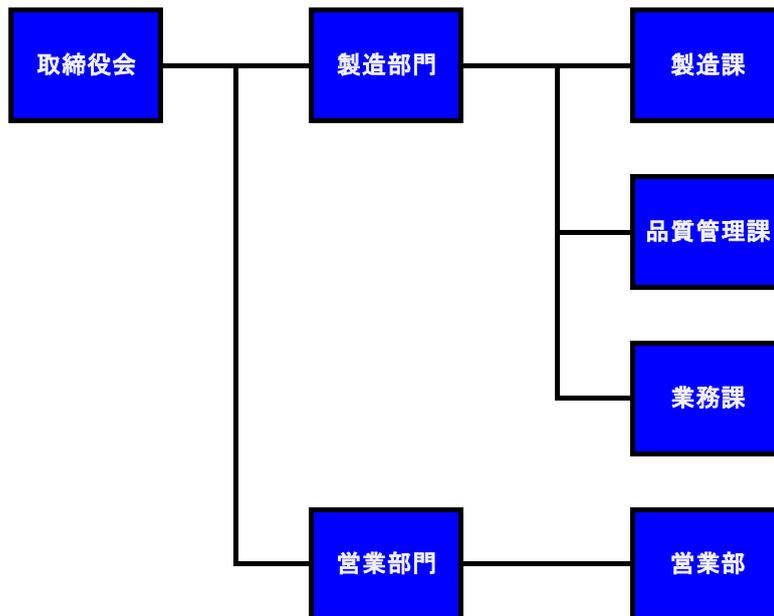
化粧品の製造及び販売
医薬部外品の製造及び販売
前各号に附帯する一切の事業

4) 事業規模

資本金	2,400万円
従業員数	11名
対象床面積	3,400平方メートル (敷地) 1,259平方メートル (工場・事務所) 438平方メートル (倉庫)

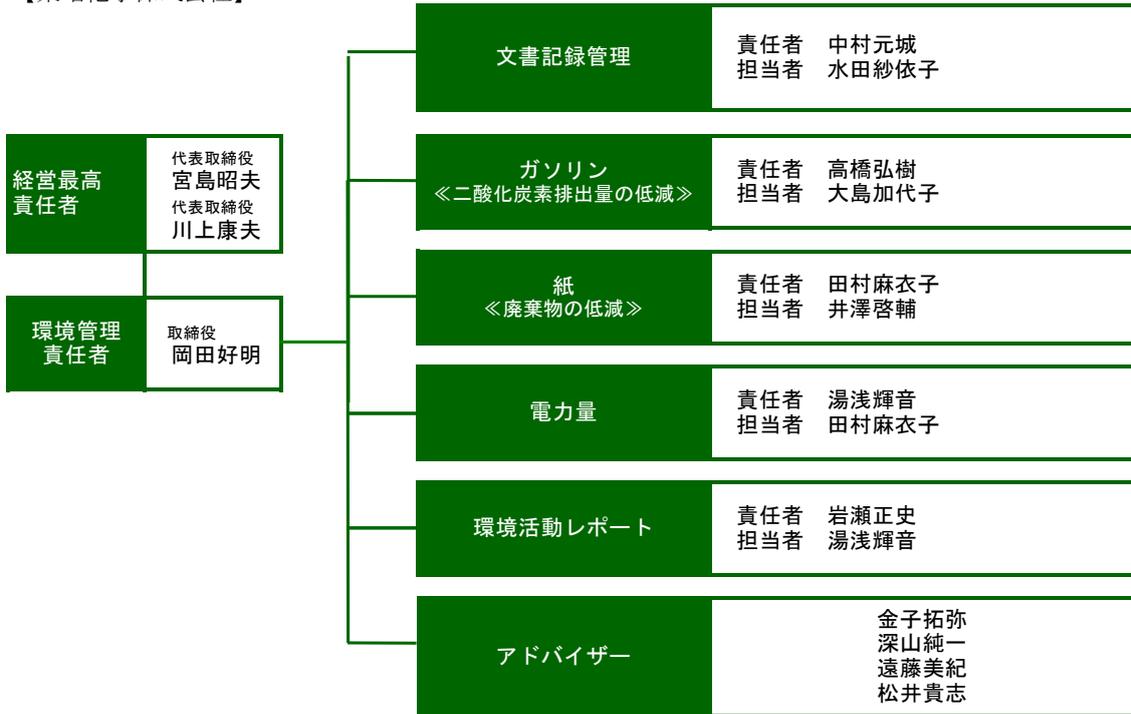


5) 株式会社 カズサ 組織系統図

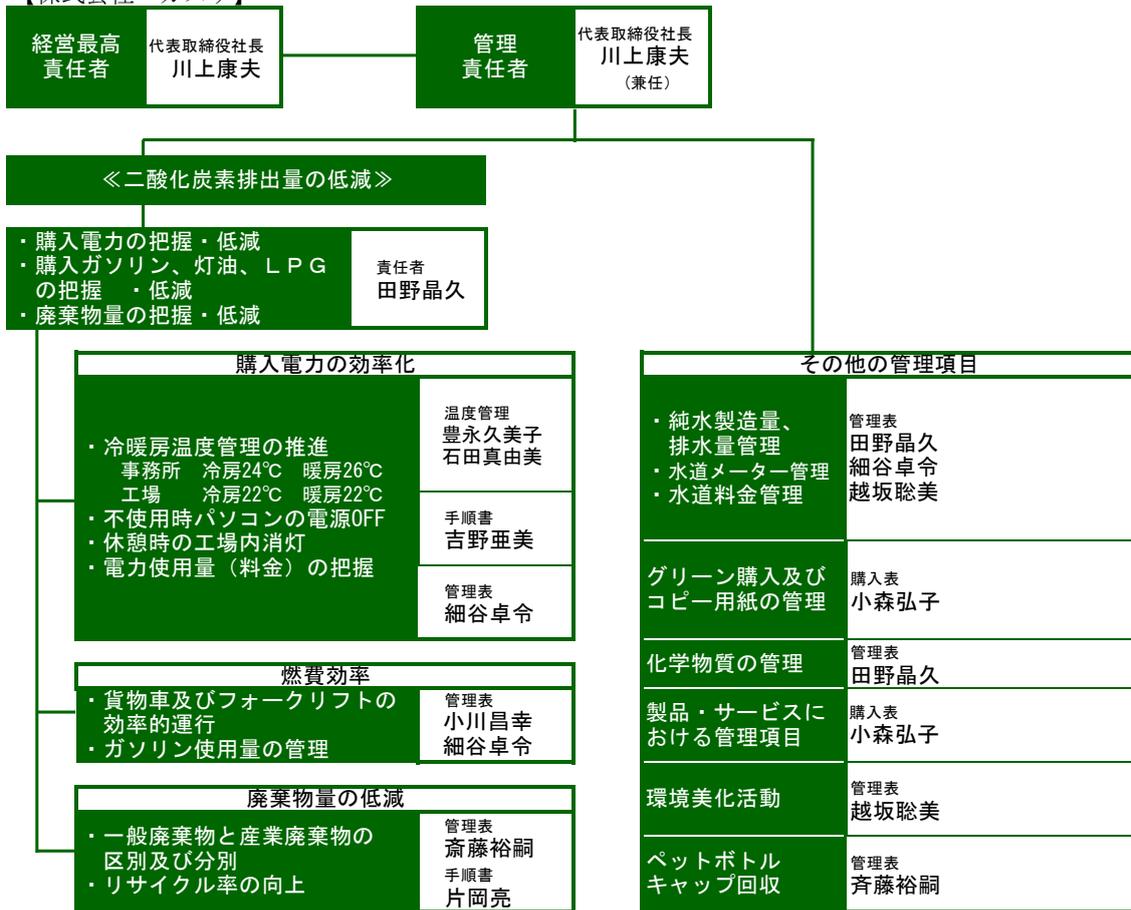


2. 実施体制

【東昭化学株式会社】



【株式会社 カズサ】



役 割	責 任 と 権 限
代表取締役	<p>環境経営方針の制定、課題とチャンスの明確化、環境管理責任者の任命</p> <p>EA21システムの全体取り組み状況の評価と見直し</p> <p>環境経営目標・環境活動計画の承認、環境経営レポートの承認</p>
環境管理責任者	<p>EA21システムの構築、運用、運用状況を社長に報告</p> <p>環境経営目標・環境活動計画の立案</p> <p>環境経営レポート作成</p> <p>教育訓練計画の作成</p>
営業部長	<p>部課員への環境教育</p>
事務局	<p>コミュニケーション窓口、緊急事態への対応</p> <p>データの収集</p>
営業・内勤業務者	<p>毎日当番該当者は、ごみ出しの記録を所定の用紙に記入</p> <p>車両管理者は毎月末の走行距離を事務局に報告</p> <p>FAX・コピー・プリンターの使用量を記録し事務局に報告</p>
カズサ責任者	<p>カズサのシステム運用</p> <p>カズサの環境経営目標・環境活動計画の立案</p> <p>カズサの教育訓練計画の作成</p> <p>緊急事態への対応と管理責任者への連絡</p>
製造責任者	<p>製造課の環境活動計画の実施とチェックリストの提出</p>

3. 環境経営方針

東昭化学株式会社及び株式会社カズサは、事業活動を通じ、地球環境の保全に最善を尽くすとともに、かかわりの深い「水」を大切にすることを常に考えながら次のことを実施していきます。

1. 環境関連法規の遵守

環境関連の法規制・基準及びその他の同意する要求事項を遵守します。

2. 省資源、省エネルギーの推進

限りある資源を保全するために、エネルギー消費量、廃棄物量の状況を把握しエネルギー消費の効率化を図り、廃棄物量の削減に努めます。

3. 環境マネジメントシステムの確立

環境経営方針達成のために、環境経営目標及び活動計画を定め環境マネジメントシステムの構築・運用と継続的改善に努めます。

4. 環境経営方針の周知と公表

環境経営方針を従業員全員に周知徹底するとともに、実施状況を環境経営レポートにまとめて公表します。

5. 化学物質の適正管理

化学物質を適正管理し、法令を遵守します。

2020年 10月 1日 (改定)

東昭化学株式会社
代表取締役 宮島 昭夫

株式会社カズサ
代表取締役 川上 康夫

環境方針の履歴

2006年 9月15日 (制定)
2008年 9月14日 (改定)
2011年 9月15日 (改定)
2016年 3月 8日 (改定)
2018年10月 1日 (改定)
2020年10月 1日 (改定)

4. 環境経営目標とその実績

1) 環境経営目標と実績

東昭化学(株)と(株)カズサはそれぞれ環境経営目標の項目を次のように掲げ
2016年10月～2021年9月の実績値からそれぞれの目標値を定め
2026年9月までに目標を達成するため、調査と活動計画を実施しています。

*6) 新5か年計画(2026年9月までの環境経営目標)参照

*東昭化学は賃貸ビルに入居しているために、水使用量は把握できません。

東昭化学(株)	5か年計画 目標	2023年度 目標	2023年度 実績
二酸化炭素排出総量(Kg-CO ₂)	19,923	20,129	21,972
営業車燃費効率(Km/ℓ)	15.82	15.66	15.74
廃棄物量(kg)	930.10	949.73	693.50

※二酸化炭素排出総量の算出については、ガソリンのみを対象としています。

○グリーン購入・化学物質の管理・製品サービス(E C O対応商品 41品目)

グリーン購入 : 事務用消耗品のエコ対応商品の購入推進

化学物質の管理 : S D S の整備、顧客への最新版の提供
(SDSをサーバーで管理)

製品・サービス : 営業車の効率的な走行と距離の把握
(走行距離 : 1 3 8 , 6 6 0 *_車)

(株)カズサ	5か年計画 目標	2023年度 目標	2023年度 実績
購入電力の低減(kwh)	33,001	33,342	44,544
ガソリン購入量(ℓ)	2,223	2,247	2,570
廃棄物量(kg)	1,771	1,789	1,520
水使用量(m ³)	1,241	1,254	1,155

二酸化炭素総排出量 : 31,910kg-CO₂ (電気・ガソリン・灯油・LPGの合計より算出)

※二酸化炭素排出係数に係る電力の排出係数に関しましては

「登録番号A0149 グローバルエンジニアリングの0.571kgCO₂/kwh」を使用しています。

○グリーン購入・化学物質の管理・製品サービス

化学物質の管理 : 化学物質の漏洩防止管理の徹底、化学物質の適正保管

製品・サービス : 製品の質の改良と向上、輸送品質の向上

製品の内容、包装資材を定期的に見直し、コストと両立した改善を推進する。

配送クレームを発生させない輸送体制を協力輸送店と共に確立していく。

○ 2023年10月から2024年9月までの新たな取組み

終息が見えない世界各地での紛争、地震や水害などの自然災害が頻繁に発生している状況において引続くエネルギー価格の高騰、相次ぐ製品の値上げやプラント停止による供給不安など新5か年計画の3年目となる今期も環境の変化に的確な判断と対応を求められることになりました。

東昭化学(株)では業務基幹システムの移行を今期中に完了する目標と併せて、発行する書類を再調査して不要な書類の発行を取り止め、必要書式はWEB発行を提案して効率化と廃棄書類の削減を推進します。

入居事務所の電気使用量について2023年6月にメーターが設置されたのを機に管理項目に追加して照明と空調などの動力に分けて使用実績を管理します。また、来年度に向けて実績を基に節電目標値を設定し、対策を実行して目標達成を目指します。

引続き営業車の効率的な使用とエコドライブで燃費向上を目指します。

(株)カズサでは新規設備導入と夏場の製品倉庫内の温度管理によるエアコンの負荷に伴い電気使用量が増加していることから、計画的に照明のLED化を促進します。また、事務所内の照明や電子機器類の未使用時の電源OFFを徹底して節電に努めるとともに、ピークオーバーを避けるため機器類の電源管理を徹底します。

引き続き製品梱包用のラップ、PPバンドの再資源化を促進して廃棄物量の低減を目指します。

また、再資源化可能な対象を模索して可能性を検討していきます。

水道使用量を水量計の管理より把握して節水に努めます。また、原料となる精製水の品質向上も平行して推進していきます。

2) 主な取組み内容

○ 燃費効率の向上

東昭化学(株)

営業車の運転日報の管理を行い、日々の走行距離や使用状況を把握し効率の良い営業活動を行う。

ハイブリッド車等低燃費車の継続使用。

省エネ対策として節電を推進する。

(株)カズサ

軽トラック、フォークリフトの走行の効率化を図る。

○ 廃棄物量の低減（ペーパーレスの推進）

発信するFAXはPC/FAXを積極的に使用する。

裏紙の積極的な利用。紙類の分別を徹底する。

受発注業務のペーパーレス化の推進。

省資源化のためにお取引先様にも協力を依頼する。

○ 水使用量の削減

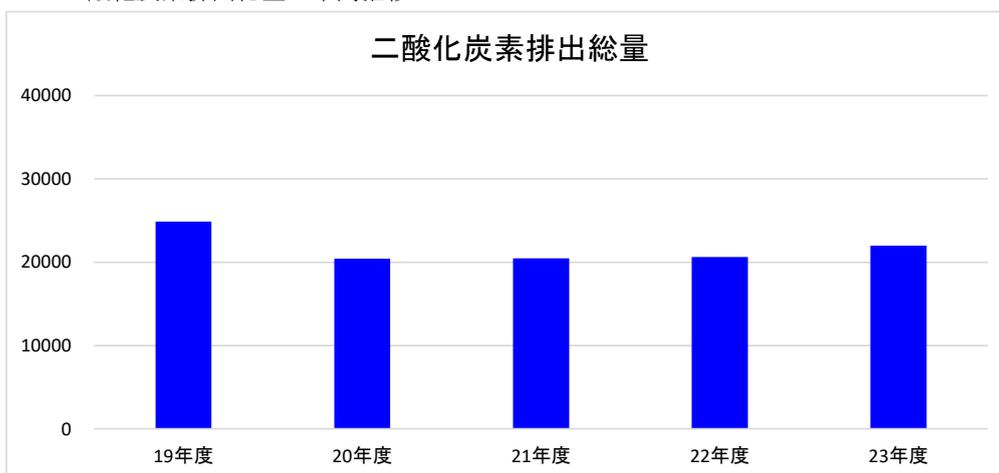
(株)カズサ

水使用量を常に把握して、効率的な使用により削減に努める。

3) 実績の推移

【東昭化学】

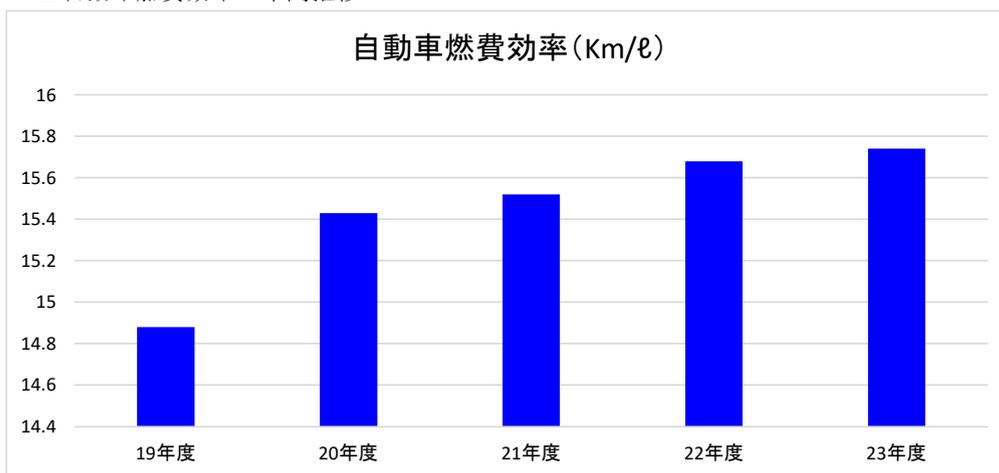
■ 二酸化炭素排出総量の年間推移



二酸化炭素排出総量(Kg-CO₂)

	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
目標値	30,750	30,593	20,332	20,230	20,129
実績値	24,902	20,434	20,457	20,663	21,972
前年増減率	88.7%	82.1%	100.1%	101.0%	106.3%
評価	◎	◎	△	△	△

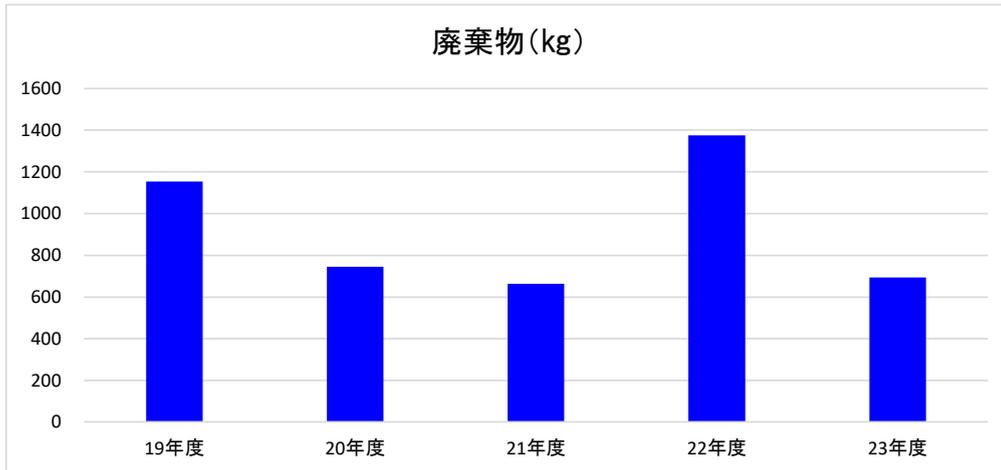
■ 自動車燃費効率の年間推移



燃費効率 (km/l)

	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
目標値	11.40	11.40	15.51	15.58	15.66
実績値	14.88	15.43	15.52	15.68	15.74
前年増減率	110.8%	103.7%	100.6%	101.0%	100.4%
対前年評価	◎	◎	○	○	○

■ 廃棄物量の年間推移

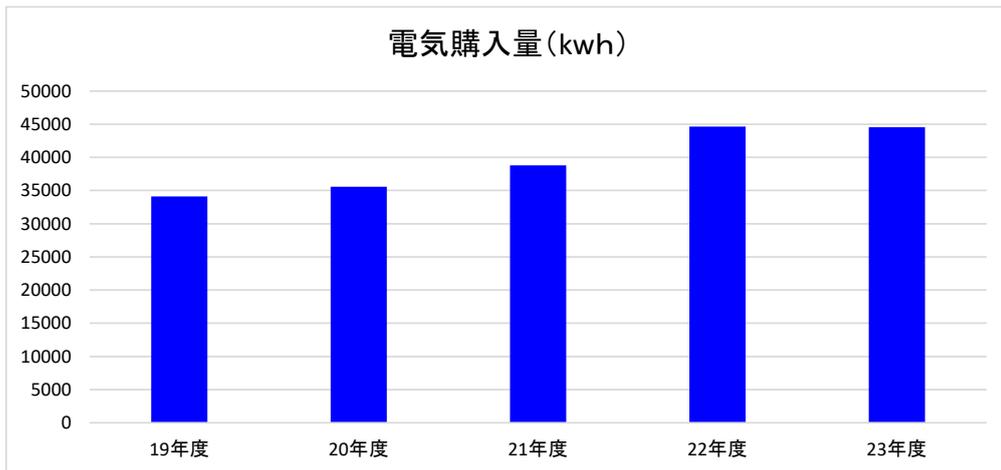


廃棄物 (kg)

	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
目標値	1,234.0	1,227.5	969.3	959.5	949.7
実績値	1,153.1	745.0	663.0	1,375.3	693.5
前年増減率	127.5%	64.6%	89.0%	207.4%	50.4%
対前年評価	×	◎	◎	×	◎

【カズサ】

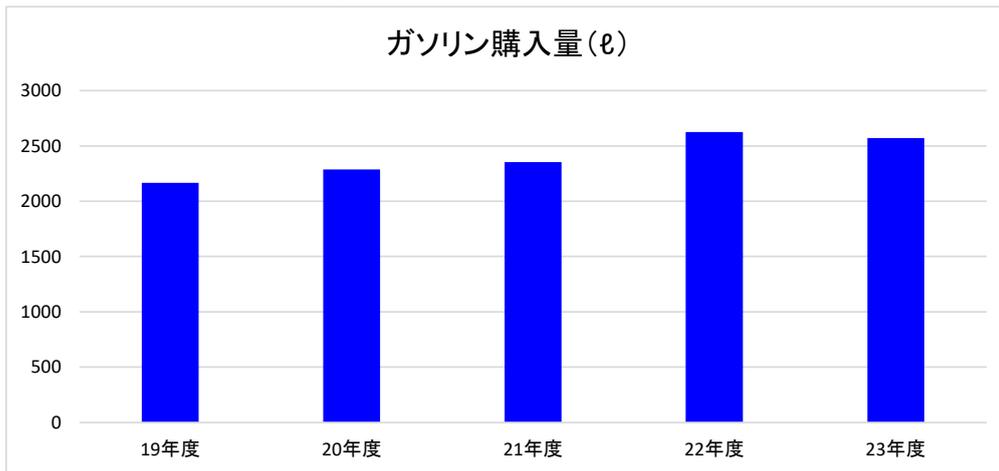
■ 電気購入量の年間推移



電気購入量 (kwh)

	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
目標値	33,483	33,307	33,678	33,510	33,342
実績値	34,096	35,591	38,805	44,646	44,544
前年増減率	100.9%	104.4%	109.0%	115.1%	99.8%
対前年評価	△	×	×	×	△

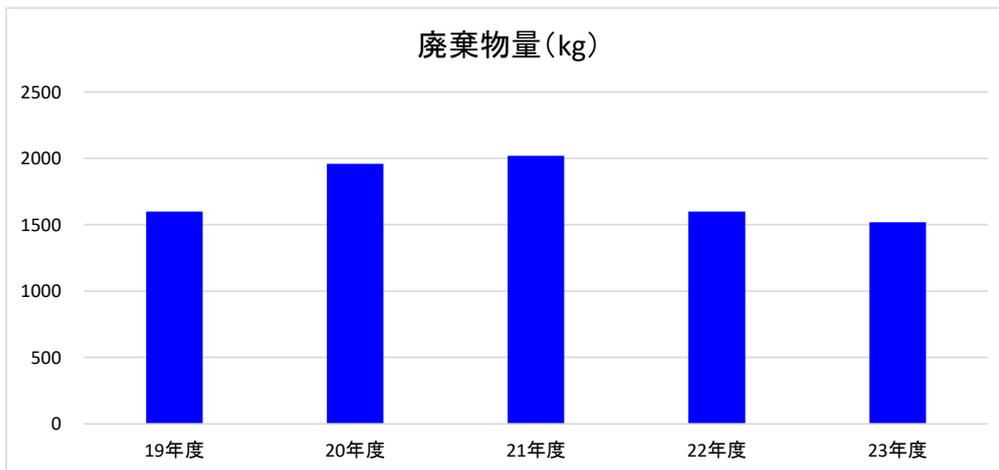
■ガソリン購入量の年間推移



ガソリン購入量 (ℓ)

	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
目標値	2,285	2,274	2,269	2,258	2,247
実績値	2,166.2	2,285.4	2,353.7	2,626.0	2,570.0
前年増減率	97.7%	105.5%	103.0%	111.6%	97.9%
対前年評価	○	×	×	×	○

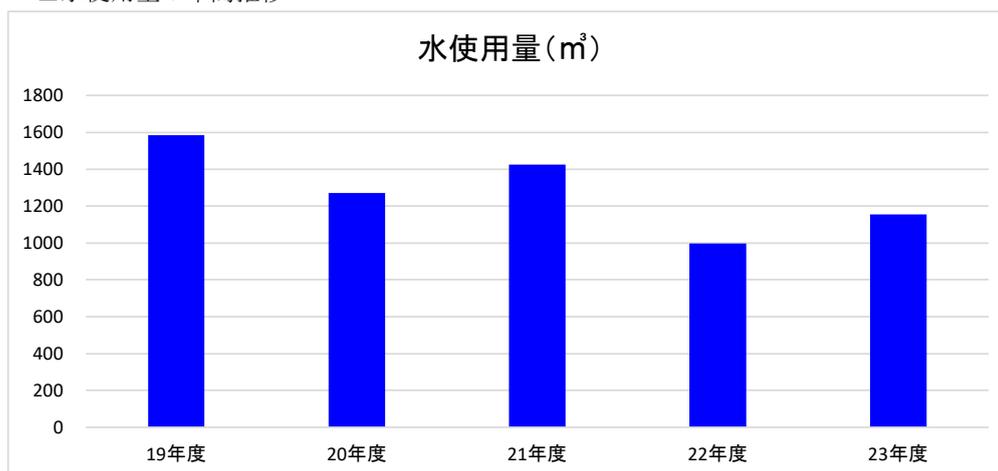
■廃棄物量の年間推移



廃棄物量 (kg)

	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
目標値	2,000	1,989	1,807	1,798	1,789
実績値	1,600	1,960	2,020	1,600	1,520
前年増減率	89.9%	122.5%	103.1%	79.2%	95.0%
対前年評価	◎	×	△	◎	◎

■水使用量の年間推移



水使用量 (m³)

	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
目標値	1,521	1,514	1,266	1,260	1,254
実績値	1,584.7	1,272.3	1,425.0	997.0	1,155.0
前年増減率	133.3%	80.3%	112.0%	70.0%	115.8%
対前年評価	×	○	×	◎	△

4) 環境活動の取組結果とその評価

【東昭化学株式会社】

①二酸化炭素排出量の低減

*電力

2023年6月からメーター設置により電気使用量を照明と空調などの動力に分けて使用実績を管理しています。今期までの実績を基にそれぞれの節電目標を設定して取り組む。それに伴い二酸化炭素排出量の項目について見直しを行います。

*ガソリン

営業部員の増員などで営業車の稼働が増加し、購入量も増加した。価格高騰により購入金額も増額したが燃費効率は向上した。貨物車両の低燃費化が課題。業務内容により有効な車両を利用するなどの工夫が必要。

②廃棄物排出量の低減

溶解リサイクル排出が今期は1回の420Kgとなり大幅に減少した。受発注業務のペーパーレス化も3年が経過して従来保管していた帳票類も電子化されて激減している。業務基幹システムの更新を機に納品書などの発行書類の必要性を取引先へ確認し、不要な書類の発行を取り止めて必要書式はWEB発行を提案して効率化と廃棄書類の削減を推進した。

③グリーン購入・リサイクルの推進

社内備品の購入に関しては、積極的にグリーン購入を行っている。リサイクルに関してはペットボトルキャップの回収と寄付を行っている。

④環境関連法規の遵守

環境関連法規への違反はありません。なお、関係当局より違反等の指摘はありません。

⑤環境教育の推進

営業車を効率よく、安全に運行させるために出発前・後の点検や運行記録を取って燃費に対する意識を高めるよう教育している。また、社内業務においては紙資源への意識や電気の適正管理を積極的に行っている。

【株式会社カズサ】

①購入電力の効率化

電気使用量も増加傾向であり、ピークオーバーを避けるために引き続き機器類の電源管理をしていたが製品倉庫内の温度管理によるエアコンの負荷が原因で8月に管理値を上回ってしまった。送液ポンプの増設などがあったが使用量は前年並みに抑えることができた。

②燃費効率の向上（ガソリン使用量）

フォークリフト、軽自動車のガソリン使用量は500の削減に成功した。使用者の省燃費意識の向上と定期点検や適切なメンテナンスでの運用が好結果となった。

③廃棄物排出量の低減

廃ラップ、PPバンドの資源化回収量が347Kgとなり、昨年比9.8%増で低減に大きな効果があった。今後もポリ容器など再資源化可能な対象を模索して可能性を検討していきます。全体的にも排出量を抑制することができた。

④水使用量の削減

各所に流量計を設置して細部まで使用量を把握できるようになった。今期は生産量と比例して使用量は若干増となった。製品原料として使用する精製水の品質管理、品質向上にも配慮して適切な使用を維持する。

⑤リサイクルの推進

ワクチンキャップ運動の目的を周知し、キャップの回収を促進した。プラドラムの処理を裁断して減容化した。廃ラップ、PPバンドの資源化回収を継続し、大きな効果がでた。

⑥環境関連法規の遵守

環境関連法規への違反はありません。なお、関係当局より違反等の指摘はありません。

⑦環境教育の推進

全社員にて環境活動を実施している。活動に関する担当をローテーションし、定例会議により各取組について全社員が理解して意識を共有することができた。

⑧自らが生産・販売・提供する製品の環境性能の向上及びサービスの改善

製品容器類の見直しを図り、形状の変更と成型不良の改善を行い使用における利便性と安全性が向上した。

◎主に当社に関連する環境法令

《東昭化学株式会社関連》

法規	目的
毒物及び劇物取締法	毒物及び劇物の輸送・販売
高圧ガス保安法	高圧ガスの輸送・販売
医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律	品質、有効性、安全性を確保することなどにより保健衛生の向上を図る
家電リサイクル法	備品のリサイクル
廃棄物処理法	廃棄物の処理
労働安全衛生法	役職員の健康と安全確保、化学物質の取り扱い
化管法（PRTR法）	SDS（安全データシート）の交付

《株式会社カズサ関連》

法規	目的
消防法 （県火災予防条例、危険物）	建物防災、危険物の保管管理、消防活動阻害物質管理
水質汚濁防止法	有害物質の排出、浸透防止、漏洩事故時の報告
浄化槽法	浄化槽の管理
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	廃棄物の適正処理
毒物及び劇物取締法	毒物及び劇物の製造・保管管理、安全輸送
オゾン層保護法	オゾン層破壊物質の管理
フロン排出抑制法	フロンガスの適正管理
家電リサイクル法	備品のリサイクル
資源有効利用促進法	資源の有効利用の促進
千葉県環境保全条例	事業所の環境保全
食品衛生法	食品の安全性の確保
医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律	品質、有効性、安全性を確保することなどにより保健衛生の向上を図る
労働安全衛生法	役職員の健康と安全確保、化学物質の取り扱い
化管法（PRTR法）	SDS（安全データシート）の交付

5) 取組結果を踏まえた2024年度取組み目標は

【東昭化学株式会社】

①二酸化炭素排出量の低減

*電力

事務所の電気使用量を環境経営目標の項目に追加して、適切な使用と省電力化を推進する。
空調の適正温度管理、PC電源管理の徹底を図る。

*ガソリン

社内営業車を更新する際は引き続き低燃費車を検討し、公共交通機関とカーシェアを組合わせて営業効率とエネルギーの消費を抑制することを両立する。
また、利用内容に適した車両を選択し全体的に燃費の向上を推進する。

②廃棄物排出量の低減

業務システム全般の改善で効率化と更なるペーパーレス化（電子化）を推進する。
ミस्पプリントの防止、資料の電子化などで紙の使用量を抑制する。
出力する帳票類の必要性を見直し、不要な帳票の出力を中止する。また、WEB発行を推進する。

③グリーン購入・リサイクルの推進

積極的にグリーン購入を推進。
紙類の分別を徹底して、リサイクルを推進。

④環境関連法規の遵守

化学物質を適正管理し、環境関連法規を遵守していく。

⑤環境教育の推進

全社員へ定期的にエコ活動における取組状況を通知する。
また、エコ委員による指導を行い、意識向上を目指す。

⑥電力使用量の低減

2023年8月から2024年7月の年間実績を元に、新たに下記の目標値を設定する。

■電灯：16,484kwh ■動力：8,458kwh

【株式会社カズサ】

①購入電力の効率化

製品保管倉庫の温度管理において、春先から夏場にかけてのエアコン稼働により電力使用量の増加は避けられないが、構内照明のLED化や作業時間中の電力使用量のピークを把握し、効率的な電力使用を心掛ける。

②燃費効率の向上（ガソリン使用量）

社用車の空気圧のチェック、オイル交換及び走行距離の記録、フォークリフトの定期点検、使用時間の記録を行い燃費効率の向上に繋げていく。

③廃棄物排出量の低減

廃棄ラップやPPバンドのリサイクルが定着し、昨年対比9.8%増の347kgを回収しリサイクルすることができた。今後もポリ容器など再資源化可能な対象を模索して検討していく。
産廃排出物の処理費用削減のため回収コンテナに効率よく投入する工夫をしていきたい。

④水使用量の削減

上水購入量、純水製造量、純水使用量、排水量等、水の使用に関する情報が正確に把握できるようになったため、次の段階として使用量の削減や製造水の水質の向上に繋げていきたい。

⑤グリーン購入・リサイクルの推進

巻き芯回収のエコプロジェクト以外にも参加できる企画を探していく。
再生紙が高価な為、使用していないが価格が下がれば使用していきたい。
ワクチンキャップの回収も進めていく。

⑥環境関連法規の遵守

化学物質の適正保管、漏洩防止管理の徹底。

6) 新5か年計画(2026年9月までの環境経営目標)

【東昭化学㈱】

T-1 二酸化炭素排出総量の低減

2020年度の実績値(20,434kgCO₂)を基準値とし
2026年9月までに二酸化炭素排出総量を2.5%低減する。
2026年9月までの目標値 19,923 kgCO₂

T-2 燃費効率

2020年度の実績値(15.43Km/l)を基準値とし
2026年9月までに営業車の燃費効率を2.5%向上させる。
2026年9月までの目標値 15.83Km/l

T-3 廃棄物量の低減

2020年度までの過去5か年の実績値の平均(979.1Kg)を基準値とし
2026年9月までに廃棄物量を5%低減する。
2026年9月までの目標値 930.1kg

【㈱カズサ】

K-1 購入電力の効率化

2020年度までの過去5か年の実績値の平均(33,847kw)を基準値とし
2026年9月までに購入電力を2.5%低減する。
2026年9月までの目標値 33,001kw

K-2 燃費効率の向上(ガソリン使用量)

2020年度までの過去5か年の実績値の平均(2,280l)を基準値とし
2026年9月までにガソリン使用量を2.5%低減する。
2026年9月までの目標値 2,223l

K-3 廃棄物量の低減

2020年度までの過去5か年の実績値の平均(1,816t)を基準値とし
2026年9月までに廃棄物量を2.5%低減する。
2026年9月までの目標値 1,771t

K-4 水使用量の削減

2020年度までの過去5か年の実績値の平均(1,272m³)を基準値とし
2026年9月までに水使用量を2.5%低減する。
2026年9月までの目標値 1,241m³

7) 代表者による全体評価と見直し

2023年10月からの我が社の営業活動における環境は、世界的なエネルギーコストの上昇や円安による輸入原料の高騰などでの生産コストの上昇と物流関連の件費の上昇や燃料価格高騰による輸送コストの値上げにより、取扱製品のほぼすべてで価格改定が行われました。また、生産工場の老朽化によるメンテナンス費の増加などもその一因となっています。

昨今、効率化が加速する中で事業撤退や製造中止となる製品も少なくなく対応に苦慮することも多くあったと思います。その一方で事業における環境への配慮は必須となり、関心も高まっています。

東昭化学株式会社と株式会社カズサでは環境経営方針に基づき、関係各社と協力して相互的に環境経営を推進し、前進してまいります。



東昭化学(株)では営業部員の増員などにより営業活動が活発になり、営業車の稼働が大幅に増加しました。ガソリン購入量も増加して、燃油価格の高騰により購入金額も大幅に増加しました。低燃費車への更新も進み燃費効率は全体的に向上していますが、貨物車両2台の運用について検討が必要です。業務内容によって有効な車両を利用するなどの工夫を積極的に推進していくことが必要です。

また、廃棄物量の削減状況は業務基幹システムの更新も試行期間から本格運用へと移行して、ペーパーレスでの業務対応が可能となりました。これを機に納品書などの発行書類の必要性を取引先へ確認し不要な書類の発行を取り止め、必要書式はWEB発行を提案して、効率化と廃棄書類の削減を推進しています。保管書類がファイル保管に変化している事で今後の廃棄量も大幅に削減されることが期待されます。

事務所での電気使用量について今年度は管理項目に追加して、照明と空調などの動力に分けて使用実績を管理しました。来期から実績に基づく管理目標を定め、節電ルールを周知して使用量の削減に取り組みます。



(株)カズサでは製品倉庫内の温度管理によるエアコンの負荷によりピーク41Kwを記録してしまいました。しかしながら電力使用量は新規設備の設置などもありましたが昨年並みに抑えることができました。照明のLED化も進み7割ほどの更新が完了して継続して計画的に更新を進めます。機器類の効率的な使用を継続して使用量の増加を抑制していきます。

廃ラップ、PPバンドのリサイクル回収が前年の実績より大幅に増加し廃棄物の低減に大きく寄与しています。今後もポリ容器などリサイクル可能な対象物を検討して再資源化で排出量削減を推進します。

電力使用のピークオーバー対策が課題となっています。引き続き空調機の管理と機器類の操作管理による対策を継続して省電力に努めます。

今期は製品容器の見直しにより利便性と安全性が向上した。今後も製造配送、使用それぞれに視野を広げて安全、安心な製品を提供すべく常に考え、課題の改善を進めてまいります。

【ワクチンキャップ運動への参加】

東昭化学(株)・(株)カズサは共同で、ワクチンキャップ運動を推進しております。社会貢献活動の一つとしてボトルのキャップを回収し、二酸化炭素の軽減と世界の子供たちのためのワクチン購入費を寄付する活動を支援しております。



〈ペットボトルキャップ回収結果〉

回収期間 (2023年10月1日～2024年9月30日)

2024/5/21	6.6 Kg	2,838 個
合計	6.6 Kg	2,838 個

回収日	回収量 (Kg)	回収数 (個)	寄付先 (円)
2024/5/21	6.6	2,838	1,740
合計	6.6	2,838	1,740